

## 2024 年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」ミニシラバス

担当者名	生田 祐子
基礎ゼミのテーマ	《国際理解のツールとしての英語》 × 私の未来 この授業では、英語を国際理解のツールとして活用し、実践的なコミュニケーションスキルを養います。グローバルキャリアを目指す学生のためには英語面接体験や、紛争地帯の難民や各国を代表する外交官として、国際社会の課題を考える機会を提供したいと考えています。毎回のテーマは履修者の関心に応じて調整します。
サブテキストなど	授業で参考文献を伝え、資料を配布します。
お勧め対象	1. NY 国連研修や英語模擬国連への参加を願っている学生。 2. 国際理解教育と中高の英語教育に関心のある学生。 3. 留学や将来の進路のために英語力向上を願っている学生。

担当者名	金井 恵里可
基礎ゼミのテーマ	国際化する日本の私 —現在、日本社会には多くの外国籍住民や外国ルーツの人々が暮らしています。私たちはどのように共生社会を創っていけばいいのでしょうか。実際に起きた事件をもとにして、話し合いながら考えます。
サブテキストなど	教材は授業内で配布または manaba に搭載します。参考文献『わたしは、不法移民』『差別する人の研究』『やさしい猫』などなど
お勧め対象	マイノリティに対する差別や排除やいじめやハラスメントはなぜ起きるのか、人権とは何なのか、マイノリティが暮らしやすい社会はどうすれば創れるのか、考えてみたい学生

担当者名	北野マグダ・レーナ
基礎ゼミのテーマ	How Are Languages Learned? In this seminar, students will consider the best ways to learn another language. Theories of language acquisition will be introduced, and students will hold their own experiments. They will then report on their results in English.
サブテキストなど	All materials will be provided in class.
お勧め対象	This seminar is appropriate for any student who is interested in languages, and useful for those who are interested in teaching. The report will be written in English, so students should be willing to challenge themselves in English writing and be interested in improving their English writing skills. It is also best for students who are already confident in reporting and presenting in Japanese.

## 2024 年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	佐々木 優
基礎ゼミのテーマ	【「働く」と「遊ぶ」から考える経済&ビジネス】 経済やビジネスと聞くと、「数学を使うから苦手」や「ちょっと難しそう」と思うかもしれませんが。しかし、経済やビジネスの要素は私たちの生活にちりばめられています。このゼミでは、アルバイト（働く）とテーマパーク（遊ぶ）を題材に、私たちが何気なく過ごしている日常が経済やビジネス（&その課題）と密接に関わっていることを考えます。
サブテキストなど	山澤成康『ディズニーで学ぶ経済学』学文社、2018年。 今野晴貴『ブラックバイト：学生が危ない』岩波書店（新書）、2016年。 なお、授業内で使用するテキストやプリントは manaba で配信予定です。
お勧め対象	・私たちの生活と経済やビジネスの結びつきや問題点について関心がある人 ・テーマパークの「楽しさ」の裏にある経済&ビジネスの考え方に興味がある人

担当者名	杉浦 功一
基礎ゼミのテーマ	【映画で国際社会を理解する】 古くより映画は国際社会の現象や問題を描いてきました。SF やアニメのように直接現実世界を描いていなくても、現実の問題を意識しているものも多くあります。本ゼミナールでは、映画を手がかりにして、国際社会の現象を理解し、諸問題を考えます。同時に、映画の発表を通じて、プレゼンテーションやディスカッションのスキルを養います。扱うテーマには、国際政治、貧困・格差、SDGs、戦争と平和、ジェンダー、子ども、難民・移民、人種差別、文化の変容、外国の政治・文化・歴史、日本における外国人、海外旅行などが考えられます。
サブテキストなど	特に用いませんが、映画や類似の映像を見ることができ環境が必要になります。参考として、三上貴教編『映画で学ぶ国際関係』『映画で学ぶ国際関係Ⅱ』、法律文化社。
お勧め対象	映画が好き人や、国際社会や外国、日本の国際化の問題に関心をもつ人

担当者名	塚田 穂高
基礎ゼミのテーマ	【ローカル／グローバルな地域の歴史・文化をとらえる一足立・草加・越谷を基点に一】 あだちキャンパスで 4 年間で過ごすのに、毎日素通りするだけではもったいない。東京都足立区、埼玉県草加市、埼玉県越谷市をメインフィールドに地域のことをもっと知ろう。市史・区史や統計資料などを読み解きます。その地域の歴史と文化を前提としつつ、「民俗」「祭り」「まちづくり」「多国籍」「異文化」などをキーワードにフィールドワークに出ます。大学がある地域にどう関わっていけるかも模索していきましょう。
サブテキストなど	授業内で、または manaba を通じて、適宜資料を配布します。
お勧め対象	・大学周辺の地域についての解像度を上げたい学生 ・歴史資料や統計資料などを探し出し、読み解けるようになりたい学生 ・社会学・民俗学・人類学・宗教学などに関わる地域調査の手法の基礎を学びたい学生 ・ローカルとグローバルの架橋に関心がある学生

## 2024 年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	丸山 鋼二
基礎ゼミのテーマ	<p><b>【アジアにおける多文化共生】</b></p> <p>アジアにおける多文化共生とは主に、(1)アジア諸国の国内での多文化(多民族・多言語・多言語)共生の状況や実際にとられている政策(内なる国際化)、(2)日韓・日中関係など国家間の多文化共生(平和共存・友好両力関係=外への国際化)という二つです。ゼミ生の関心のある国について、まず基本知識を習得しながら多文化共生政策や国際社会との関わり・善隣友好外交政策を学んでいきます。その中で調べ方・まとめ方・発表の仕方についても丁寧に指導していきます。</p>
サブテキストなど	とくにありません。必要に応じてプリントを配布します。
お勧め対象	他国、アジアについて知ってみたいと思う人

担当者名	本浜 秀彦
基礎ゼミのテーマ	<p>「映画を見る!撮る!」 教養として映画を学び、スマホでショートムービーを制作します(グループ&amp;個人で)。映画制作で大切なのは、撮影や編集の技術よりも、問題意識と感性、そして「雑学(=教養)」です。映画やテレビドラマや演劇や写真を見る。マンガや小説や新聞を読む。音楽を聴く—これらを通して、自分の感性とメッセージ(ことば)を研ぎ澄ましましょう。</p>
サブテキストなど	特に教科書はなし、適宜プリントを配布(ただし、授業外で映画を観てもらうためのチケット代などが発生します)。
お勧め対象	<p>人とのコミュニケーションや映画が好きなお学生。お勧めしないのは、映画を観るとつい眠くなる人。朝早く起きるのが苦手な人(何たって水曜の1限。撮影は時間管理が重要なので、無断欠席、遅刻はありえへん!)。運動がおっくうな人(撮られる側にもまわるため、基本的な演劇トレーニングあり)。そのような人たちにとって私の基礎ゼミは“苦行”。くれぐれもマッチングをお間違えなく!</p>